

イスラエル経済月報（2019年9月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 栗田 宗樹）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標.....	6
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 為替（Exchange Rate）	
6. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
7. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	10
[アグリ/フードテック] アグリ/フードテックでのイノベーション第二波	
日本-イスラエル 経済関係.....	12
[政府間] 防衛省とイスラエル国防省が防衛装備・技術に関する秘密情報保護の覚書に署名	
[医療] テルモが ICECURE 社製品の日本及びシンガポールでの販売契約を締結	
[クラウド] 早稲田大学と慶應義塾大学、日本初となる図書館システム共同運用に EX LIBRIS 社の技術を採用	
[フィンテック] みずほ銀行、富士通等が、PERSONETICS TECHNOLOGIES 社の技術を活用したビジネスモデル検証を開始	
[フィンテック] FUNDBOX 社が日本を含む投資家から 3.26 億ドル調達	
イスラエルにおける展示会・国際会議の今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） ..	15
[モビリティ] Smart mobility summit 2019（2019年10月28～29日、テルアビブ）	
[産学連携] AUTM Asia 2019（2019年11月4～7日、エルサレム）	
NEW [AI] AI WEEK（2019年11月17～21日、テルアビブ）	
[水] WATEC Israel（2019年11月18～21日、テルアビブ）	
[デジタルヘルス] Digital.Health.Now. 2019（2019年11月27日、テルアビブ）	
[サイバーセキュリティ] CyberTech（2020年2月3～5日、テルアビブ）	
[スタートアップ] 2020 OurCrowd Global Investor Summit（2020年2月11日～13日、エルサレム）	
[スマートモビリティ] EcoMotion Week 2019（2020年5月18～21日、テルアビブ） 等	
日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） ..	21
[観光] ツーリズム EXPO ジャパン 2019（2019年10月24～27日、大阪）	
[イノベーション] イノベーションリーダーズサミット 2019（2019年10月28～30日、東京）	
NEW [メディア] The Future of Viewing Experience イスラエルニューメディアセミナー（2019年11月14日、東京）	
[サイバーセキュリティ] サイバーテック東京 2019（2019年11月26～27日、東京）	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1日 テルモが、低侵襲冷凍アブレーション乳がん治療企業 IceCure 社と、同社製品の日本及びシンガポールでの独占販売契約を締結。
- 1日 フィッチは、イスラエルのマクロ経済が引き続き力強いと評価し、A+の格付を維持。
- 2日 公表されている案件を集計したデータによると、8月のイスラエルスタートアップの資金調達額は3.5億ドル。歴代最高額となった前年を上回るペース。
- 2日 テルアビブ-エルサレム間の電化高速鉄道について、年末までの開通予定が、労組との労働争議によってさらに遅れそうな見込み。当初予定では、2008年完成。
- 2日 海南航空によるテルアビブ-上海直行便が、今冬の間、一時的に運航を休止する。
- 3日 現代化されたカナダ-イスラエル FTA(CIFTA)が1日に発効。カナダからの食品輸入の関税が廃止又は軽減される。同協定は、電子商取引や環境保護、男女平等措置などに関する条項が新たに含まれている。
- 3日 関係者が匿名を条件に明かしたところでは、インド国営 Indian Oil Corporation が、イスラエルの電池開発 Phinergy 社と提携し、インドに EV 用電池工場を設立予定。
- 4日 教師なし機械学習システムを開発する Cortica 社からスピノフしたテルアビブの自動運転 AI 企業の Cartica AI 社が、シリーズ B の資金調達を完了。コンチネンタル、Toyota AI Ventures、BMW i Ventures、OurCrowd が出資。金額は非開示。
- 4日 イスラエル防衛企業大手 Rafael Advanced Defense Systems 社と実業家 Avihai Stolero 氏が、無人航空機 (UAV) 製造 Aeronautics 社を 50% ずつの持分で買収。買収金額は 2.4 億ドル相当。Aeronautics 社はテルアビブ証券取引所の上場を廃止。
- 4日 中央統計局によれば、8月のイスラエルへの旅行客は 30.5 万人。前年同月比 9% 増。
- 4日 テルアビブに新たなアクセラレーター Women of Startup Nation Accelerator が誕生。第 1 期として、創業者に少なくとも 1 名女性がいるスタートアップ 11 社を選定。
- 4日 6月のパリ航空ショーで 9 人乗りの電気飛行機を公開したイスラエルのスタートアップ Eviation Aircraft 社の株式の過半数をシンガポールに拠点を置く投資グループ The Clarmont Group が取得。金額は非開示。
- 5日 中央統計局によれば、6月のイスラエルの平均賃金は 11,175NIS。前年同月比 2.9% 増。特に、情報・通信分野での上昇が著しい。
- 5日 Visa が 3 社のイスラエルのフィンテック企業（即時与信の ChargeAfter 社、中小企業向けオンラインクロスボーダー取引サービスの Mesh Payments 社、支払いプラットフォームの Zooz 社）と提携。金額は非開示。
- 6日 中国の広汽グループの電気自動車ブランド Aion が、2020 年第 1 四半期にテルアビブにショールームを開設予定。トヨタとレクサスのイスラエル正規ディーラーである Union Mortors 社の子会社 Orion Mobility 社が、Aion のディーラーを務める。
- 6日 中国の建設・インフラ・エンジニアリング企業 13 社の使節団がイスラエルを訪問。スマートビルディング関連のスタートアップ等と面談した。

- 8日 カハロン財務相は、訪仏してル・メール経済・財務相と会談。アジア開発銀行へのイスラエルの加盟について、フランスの支持を取り付けた。
- 8日 イスラエル鉄道と運輸・道路安全省は、エルサレム-テルアビブ間の電化鉄道の初の試験走行に成功したと発表。年内の本格運行を目指す。
- 8日 Europe Asia Pipeline 社が有するイスラエル南部アシュケロン沿岸の天然ガス施設を East Mediterranean Gas 社が使用できるとする協定を両社が締結。イスラエルからエジプトへの天然ガス輸出に向けた重要なステップである。
- 9日 財務省は、予算額を現在の支出額が大幅に上回っているとして、外務省に対し、在外公館における支出を停止するよう指示。
- 10日 前日の指示から一転、財務省は、外務省の海外での活動に対する暫定的な資金拠出を認めた。抜本的解決に向けた両省間での協議は続けられる。
- 10日 日本の防衛省とイスラエル国防省が、防衛装備・技術に関する秘密情報保護の覚書に署名。
- 10日 議会に対するロビイストの影響力に反対するイスラエルの NPO Lobby99 が、Delek Group 社と Noble Energy 社による East Mediterranean Gas 社買収承認に反対する請願を裁判所に提出。
- 10日 米国とメキシコの2つの企業による計8,300名のインセンティブトリップの入札をエルサレム市が落札。経済効果は2,000万ドル。アテネと競っていた。
- 11日 独ソフトウェア企業 SAP が、テルアビブに拠点を置く12週間のアクセラレータープログラム SAP.IO Foundry を開始。第1期として7社のスタートアップを選定。
- 12日 イスラエル国家サイバー総局とクロアチア内務省が、サイバーセキュリティに関する協力覚書に署名。
- 12日 NPO Tsofen によれば、イスラエルのハイテク産業におけるアラブ系労働者は、まだハイテク技術者の4.5%にすぎないが、その数は2008年の20倍にのぼる。
- 12日 米国マクドナルドが、イスラエル人がシリコンバレーで創業した音声会話技術企業 Apprente 社の買収で合意。ドライブスルーに技術を活用する。金額は非開示。
- 12日 ヘブライ大学が中国広州に新たな脳科学のイノベーションセンターを設立するための覚書に署名。新センターは、同大、the Guangzhou Sino-Israel Biotech Investment Fund、ナザレに拠点を置く医療機器 Alpha Omega 社が主導する。
- 15日 財務省は75ドルまでの個人輸入品に対するVATの免除措置廃止を検討。次期内閣及びクネセットで2020年予算案が承認されれば、200億NISの増収が見込まれる。
- 15日 アリババによると、同社が運営するオンライン小売プラットフォーム天猫（Tモール）は、イスラエルの美容関連でのサプライヤーを探している。
- 16日 複数の情報筋によると、アマゾンが国営のイスラエルポストと独占配送契約を締結。同社からはノーコメントだが、年間売上に数千万NIS貢献すると見られる。
- 16日 テルアビブに拠点を置き、尿検査キットを提供しているスタートアップ Healthy.io 社が、ラウンドCで6,000万ドルを Corner Ventures, Samsung NEXT 等から調達。
- 17日 中央統計局が発表したデータによると、2000~2018年の間に、イスラエルの道路上の私用車は91%、走行距離は68%増加した一方、道路面積は48%、総延長距離は20%しか増えていない。一方で、一台平均の走行距離は14.5%減少している。

- 18日 ヘルスケアに特化した VC Triventures は、シエバ医療センターと連携して運営する 4,000 万ドルのシードステージファンド開始を発表。半分の金額を調達済。VC と医療機関が連携するイスラエル初の試みとなる。
- 19日 エジプトへの天然ガス輸出ができない場合に備え、水・エネルギー省は、国内での家庭用ガス消費を増加させるため、15 の居住区をパイプラインに接続し、調理及び暖房用以外にガスを使用するための実証事業を実施中。
- 19日 検察庁によると、イスラエル製造者協会 Shraga Brosh 会長を、弟らとともに、脱税容疑で起訴予定。詐欺、文書偽造、脱税の容疑で 2016 年に逮捕されている。
- 20日 中国江蘇省がテルアビブにイノベーションセンターを開設したと発表。同センターは、イスラエルで技術スカウトを行う中国企業に加え、イスラエル企業も支援する。
- 20日 オラクルは、冗長性と安全性確保のため、クラウドサービス用のサーバーセンターをイスラエルに開設すると発表。同業の中でイスラエルでのサーバー開設は初。
- 20日 イスラエル空港庁のデータによると、イスラエルからエジプトへ、エイラットの国境を通過してシナイ半島への旅行客が年初から 100 万人を突破し、前年比 30% 増。
- 20日 イスラエルでタクシー呼寄せサービスを展開しているロシア企業 Yandex 社は、年末までにテルアビブで 10 台の自動運転車を稼働させると発表。既に 3 台が稼働中。
- 22日 アマゾンがイスラエルでの配送サービスを開始。現時点でヘブライ語サイトはまだなく、英語サイトのみだが、ユダヤ暦大型連休前のサービス開始を優先させた模様。
- 22日 起訴決定を受け、イスラエル製造者協会 Shraga Brosh 会長が辞職。2005 年から会長職を務めていた。関係者によると、後任を選ぶ選挙には複数の候補が出馬予定。
- 23日 NPO Start-Up Nation Central の報告書によると、アグリ/フードテック分野で 350 以上のハイテク企業が活動しており、約 1/3 は 5 年以内に創業されたもの。
- 24日 フィンテックスタートアップ Fundbox 社が、エクイティとデットで計 3.26 億ドルを資金調達。投資家には三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ、リクルート・ストラテジック・パートナーズ、GMO インターネットが含まれている。
- 24日 イスラエル電力公社 (IEC) は、タマル天然ガス田の所有者と新たな契約を締結予定。18 か月間 1BTU 当たり 4.3 ドルに価格を下げ、レヴァイアサンよりも低価格。
- 24日 イスラエルの通信企業 Cellcom Israel 社は、500 人の従業員のレイオフを含む経営合理化計画を実施予定。同社は TV とインターネット事業を主力事業とする方針。
- 25日 中央銀行は、Check Point 社の共同創業者 Marius Nacht 氏が設立したデジタル銀行に銀行ライセンスを付与。イスラエルでの新たな銀行ライセンス付与は 1978 年以來。
- 25日 中央銀行が公表した報告書によると、データが整備されている他の OECD 諸国と比べると、イスラエルの時間当たり賃金は低い。
- 25日 関係者が匿名を条件に明かしたところによると、ヒュンダイが水素トラックの実証事業を 2020 年にイスラエルで実施予定。事業はイスラエルの自動車小売 Colmobil 社と交通・物流企業 Taavura Holdings 社が実施する形となる。
- 25日 フランクフルト証券取引所上場の食品小売メトロ AG 社の経営陣が、おもてなし分野のスタートアップ 10 数社との面談のためにイスラエルを訪問する。

- 26日 PitchBook が発表したデータによると、1~8月の間にイスラエルスタートアップは23億ドルの資金を調達。昨年に比べると、投資金額の中央値及び平均値は増加。
- 26日 シンガポールの公営企業 Temasek Holdings 社から、イスラエルのアグリ/フードテックへの投資機会を求めて出張者が来訪。
- 26日 エルサレムに拠点を置く VC Pico Venture Partners が 8,000 万ドルの 2 号ファンドを組成。これで同社の運用資産は 1.3 億ドルとなる。
- 26日 PE 企業 Baring Private Equity Asia 社が、イスラエルの医療・美容用レーザー企業 Lumenis 社を中国系 PE ファンド XIO Group から買収予定。企業価値は 10 億ドルを超える見込み。以前報じられていた英国 PE 企業による買収は成就しなかった。
- 27日 海水淡水化プラント Sorek B の建設入札に関し、4A Desalination Group が IDE 社と Hutchuson 社には参加資格がないとエルサレム地裁に提訴。両社が運営する Sorek A プラントで精製された水の塩分濃度が基準の 4 倍に達するとして詐欺の疑惑がある。
- 27日 エルアル航空は、東京五輪へのイスラエル派遣団の公式スポンサーとなる。来年 3 月から運航される直行便で選手を東京に運ぶ等の支援を行う予定。
- 27日 深圳証券取引所上場の電気機械企業 Shenzhen Hifuture Information Technology 社は、イスラエルのセラミック 3D プリントスタートアップ XJet 社に 4,500 万ドルを投資。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

- 2019年第2四半期の成長率二次推計は、一次推計から大きな変更なし。第2四半期1%、上半期では3.6%の成長。

中央統計局の発表によると、2019年第2四半期の経済成長率（二次推計）は、年率わずか1.0%であったが、2019年上半期でみると、3.6%成長となり、前年同期（2018年上半期）比0.7%増、前期（2018年下半期）比0.1%増。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/doclib/2019/286/08_19_286t1.pdf)

報道 Globes (<https://en.globes.co.il/en/article-israels-economy-grew-at-36-in-h1-2019-1001300900>)

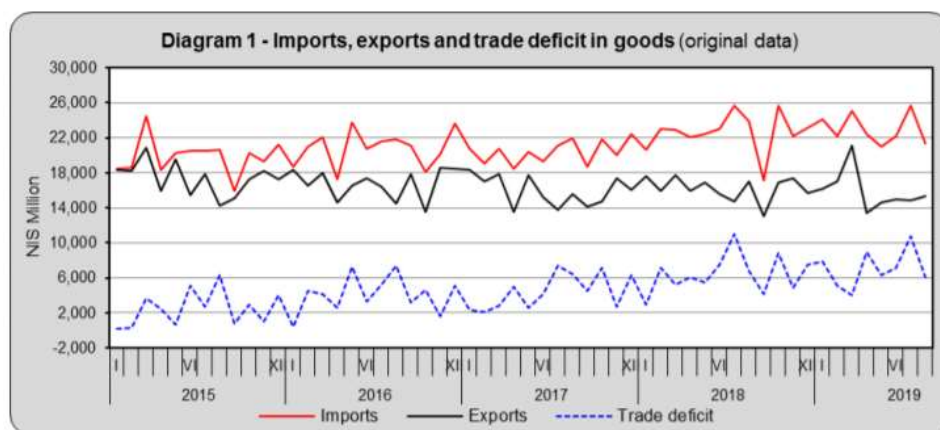
2. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

- 2019年8月期の貿易赤字は60億NIS

中央統計局の発表によれば、2019年8月期の物品輸入は213億NIS、物品輸出は153億NISであり、貿易赤字は60億NISであった。

物品輸入（航空、船舶、ダイヤ、燃料除く）は直前3カ月間で年率12.3%減少した。輸入の43%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、20%が消費財、15%が機械装置、陸上輸送機であった。残り22%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

物品輸出（航空、船舶、ダイヤ除く）は直前3カ月間で年率1.4%増加した。鉱工業製品の輸出が全体の93%を占め、6%がダイヤモンド、残り1%が農林水産品であった。工業製品輸出のうち36%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率1.5%増加した。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2019/279/16_19_279e.pdf)

3. 失業率 (UNEMPLOYMENT RATE)

● 2019年8月の失業率は3.8%

中央統計局は、2019年8月期の失業率は3.8%であり、前月比0.1%増だったと発表。労働参加率は63.2%で、前月比0.1%増。

2019年8月期の15才以上人口における労働人口は411.7万人、うち被雇用者数は395.7万人（男性206.9万人、女性188.7万人）となった。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2019/291/20_19_291e.pdf)



4. 消費者物価指数 (CPI)

● 8月期のCPIは前月比0.3%減

中央統計局の15日の発表によれば、2019年8月期の消費者物価指数は前月より0.2%上昇。エコノミストの予測をわずかに上回る結果となった。

過去12か月間では0.6%の上昇。年初からの上昇率は0.8%で、イスラエル中央銀行が年間のターゲットレンジとしている1%~3%を下回る。

特に価格上昇が著しかった製品は、生果物・野菜(4.2%高)、文化・娯楽(2.6%高)で、逆に価格下落が著しかった製品は、被服(1.5%低)、通信費(0.7%低)、雑費(0.7%低)である。

中央統計局は、6-7月期の住宅価格指数も公表。5-6月期に比べて0.3%下落となったものの、昨年比では0.7%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2019/285/10_19_285e.pdf)

報道・Globes (<https://en.globes.co.il/en/article-cpi-up-02-in-august-home-prices-fell-1001300824>)

5. 為替 (EXCHANGE RATE)

● 9月も引き続きシェケル高の展開

為替相場は引き続きシェケル高が続いており、月内に一進一退を繰り返したものの、今年の趨勢である1ドル3.5-3.6NISの価格帯で推移した。

月初、イスラエル中央銀行のAmir Yaron 総裁は、為替市場が予め定めた取引価格帯を逸脱することとなれば、中銀は為替介入を躊躇しないと発言したものの、それがいくらなのかについて明言はしなかった。市場では、1ドル3.45NISを割り込まない限り介入はないだろうとみられている。

しかし、月末には、世界国債インデックス (WGBI) へのシェケル建て債の組入比率が増加させられたことを受け、外貨のシェケルへの換金ニーズが増加し、急激なシェケル高となった。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/market.tag>)



グラフ出典：中央銀行・9月のドルシェケル相場推移 (<https://www.boi.org.il/en/Markets/ExchangeRates/Pages/Chart.aspx?CurrencyId=3&DateStart=02%2F09%2F2019&DateEnd=27%2F09%2F2019&webUrl=%2Fen%2FMarkets%2FExchangeRates>)

6. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● イスラエルの外貨準備高は引き続き 1,200 億ドル付近

中央銀行による発表によれば、2019年8月末時点の外貨準備高は、前月比1.71億ドル減となる1,198億ドルであった。現在、外貨準備高はGDPの31.9%を占める。

減少の要因は、評価替 (0.15億ドル)、民間移転 (0.03億ドル)、政府移転 (1.55億ドル) であった。他方、中銀による外貨購入 (0.02億ドル) による準備高の増加も生じている。

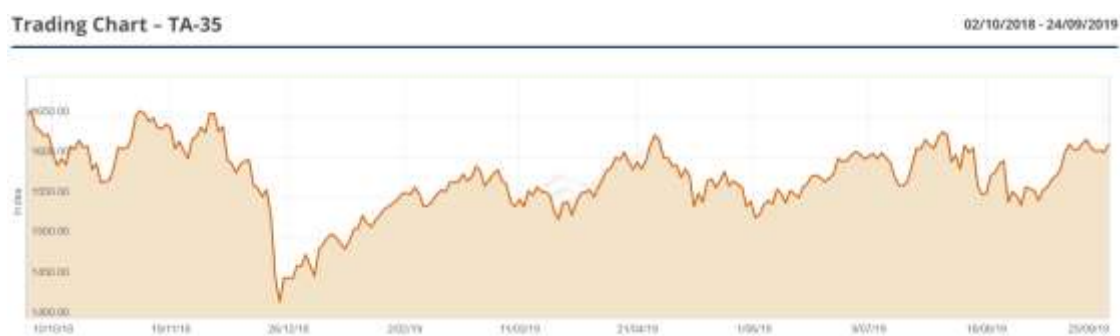
出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/5-9-19.aspx>)

7. 主要株価推移 (TA35)

● 月間推移



● 年間推移



出典：テルアビブ証券取引所 (<https://www.tase.co.il/en>)

イスラエル経済関係記事

アグリ/フードテック アグリ/フードテックでのイノベーション第二波

NPO Start-Up Nation Central が発表した報告書によると、イスラエルのアグリ/フードテック分野が、科学の進歩を活用し、世界の食糧生産をディスラプトしようと急速に活動を活発化させている。

現在、アグリ/フードテック分野では 350 以上のハイテク企業が活動しており、その約 1/3 は 5 年以内に創業されている。2016 年以来、124 社のスタートアップが創業されており、これはその前の 6 年間に創業された企業の総数を上回っている。

2018 年にイスラエルのアグリ/フードテック企業がエクイティで調達した金額は 1.03 億ドルに達する。これは、オーストラリアやインドといったはるかに大きな国における資金調達額と同等又はそれを上回る金額である。そして、この金額は今年既に破られており、9 月までの投資金額は 1.15 億ドルにのぼる。DouxMatok 社、Aleph Farm 社、Fieldin 社といった企業が投資ラウンドを主導している。

イスラエルでは、農業イノベーションの「第一波」として、特に、乾燥した国土を克服するための点滴灌漑の発明、そしてチェリートマトの開発が知られている。灌漑企業ネタフィム、乳牛モニタリング開発 SCR 社、そしてフレーバー企業 Frutarom 社が、イスラエルの農業技術を代表するリーディング企業である。

Start-Up Nation Central によれば「第二波」とされる現在の新たなアグリ/フードテック企業は、ビッグデータ分析、センサー、バイオテック、ロボティクスに基づく。しばしば、スマート圃場管理、病原体コントロール、代替食糧源（特に、動物性タンパク質と砂糖消費に対する代替）にイノベティブなソリューションが見られる。

Start-Up Nation Central のアグリ/フードテックセクター開発マネージャー Tamar Weis 氏は述べる。「現在食料確保から栄養確保に移行しつつあり、また生産量と利益を増やすことのみならず健康と持続可能性を増大させることに対する関心が高まっている。」

こうした「第二波」に呼応するように、世界の大手食糧・農業多国籍企業が、今月テルアビブで開催される Israel's AgriFood Week に参加する予定だ。こうした企業としては、ペプシ、バイエル、アンハイザー・ブッシュ・インベブ、BASF、モンデリーズ・インターナショナル、カーギル、ネスレ、シンジエンタが挙げられる。

Start-Up Nation Central によれば、アグリ/フードテック分野における最近の発展には、主としてイノベーション庁を通じた政府支援による財政的面の充実と、農業・イスラエル国防軍・アカデミアにおける経験を持った起業家の貢献が大きい。Start-Up Nation Central が行った最近の研究によれば、回答企業の 29% が、そのソリューションが創業者の軍隊でのバックグラウンドに由来すると述べている。この傾向は、特に ICT にフォーカスしたスタートアップで顕著である。半数の企業がアカデミアとの公式な連携を回答しており、51% の企業はキブツ出身の創業者を有している。

出典：報道 The Jerusalem Post

(<https://www.jpost.com/Israel-News/Israel-enjoying-resurgence-of-agri-food-tech-innovation-602370>)

日イスラエル経済関係記事

政府間 防衛省とイスラエル国防省が防衛装備・技術に関する秘密情報保護の覚書に署名

9月10日(火)、防衛省において、防衛省側から鈴木防衛政策局次長及び青柳防衛装備庁装備政策部長と、訪日中のベン・モシュ・イスラエル国防省防衛基盤保障局長をそれぞれ代表者として「防衛省とイスラエル国防省の間の防衛装備・技術に関する秘密情報保護の覚書」に署名。

本覚書は、日本とイスラエル防衛当局間で提供される、防衛装備・技術に関する秘密情報を適切に保護するための覚書である。本覚書により、防衛装備技術分野における日イスラエル防衛当局間の防衛装備技術協力の情報共有と意見交換のより一層の促進が期待される。

出典：プレスリリース

(<https://www.mod.go.jp/j/press/news/2019/09/10a.html>)

医療 テルモが ICECURE 社製品の日本及びシンガポールでの販売契約を締結

イスラエルの低侵襲冷凍アブレーション乳がん治療企業 IceCure 社が、同社製品の日本とシンガポールでの販売契約をテルモと締結したと発表。

同社は2006年創業で、超音波イメージガイド深針を開発しており、それを用いて良性及び悪性の腫瘍に液体窒素を注入して組織を凍らせる冷凍アブレーションと呼ばれる治療法を手がけている。破壊された腫瘍の細胞は、時間の経過とともに対内に吸収される。

契約によれば、同社は契約署名後30日以内に250万ドルを受け取り、最初の製品の供給によってさらに150万ドルを受け取る、同社によれば、最初の製品の供給は2020年の第1四半期を目指している。テルモは、最低1,320万ドルの注文を約束している。契約期間は5年間。最低数量は、販売許可と保険収載を得ることを条件とし、テルモがこれら許認可に責任を有する。テルモは、日本及びシンガポールにおける独占販売権を得る。

もし計画どおりにいけば、2019年第1四半期200万NIS(同年前期比15%増)だったIceCure社の売上は急激に増加することとなる。同社は、製品販売を現在主として米国で行っており、まずは良性の胸部腫瘍に集中しているものの、計画どおりに事業が進捗しておらず、現在の企業報告は継続的警告状態である。

中国の実業家 Haixiang Lee 博士が2015年5月に支配権を持つ株主となってから、同社はアジアに目を向け始めるとともに、悪性腫瘍の治療にエフォートを注ぎ始めた。一方で、依然として米国市場が同社の売上の大半を占めている。最近になって、悪性腫瘍に対する治療の保険収載が認められた。

出典：報道 Globes, CTech by Calcalist

(<https://en.globes.co.il/en/article-icecure-signs-japan-singapore-distribution-deal-1001299095>)

クラウド 早稲田大学と慶應義塾大学，日本初となる図書館システム 共同運用に EX LIBRIS 社の技術を採用

早稲田大学図書館と慶應義塾大学メディアセンター（図書館）は、日本初となる図書館システム共同運用を開始した。

このたび採用したシステムはイスラエルに本社を持つ Ex Libris 社のクラウド型の図書館システム Alma（*1）及び検索インターフェース Primo VE（*2）で、ケンブリッジ大学やハーバード大学をはじめとする海外の名門大学図書館で運用の実績があり、国内では初の導入となる。

共同運用のメリットを活かすために、目録情報の効率的作成を実現する組織「早慶目録ユニット」を新たに立ち上げ、図書館システム上で国際標準形式の目録情報を共有することとした。この結果、両大学に所属する研究者・学生は、早慶の資料合わせて 1,070 万冊を同時に検索できるようになった。

また、新たな検索インターフェースでは契約電子資料も、紙媒体の所蔵資料と横断的に検索できるようになったほか、これらの資料の中に収録されている論文や記事、さらには Web 上に無償で提供されている世界中の学術情報も同時に発見できるようになる。両大学の図書館利用者にとって利便性が大幅に向上するほか、図書館にとっては、ジャーナル等の電子資料の契約・アクセス管理を一元的に行うことが可能となり、より安定的かつ国際標準に準拠した学術情報を提供できる環境が整うことが期待される。

（*1）Alma: 紙の図書、雑誌と電子ジャーナル等の購読契約のある電子情報を統合的に管理できるクラウド型図書館システム。2019 年 5 月時点で 38 ヶ国 1,617 機関が採用。

（*2）Primo VE : 図書館利用者が、蔵書、契約電子情報に加え、論文データをまとめて横断的に検索することが可能なプラットフォーム。ディスカバリーと呼ばれている。

出典：プレスリリース

<https://www.keio.ac.jp/ja/press-releases/files/2019/9/3/190903-1.pdf>

<https://www.waseda.jp/top/news/66247>

フィンテック みずほ銀行、富士通等が、PERSONETICS TECHNOLOGIES 社の技術を活用したビジネスモデル検証を開始

みずほ銀行、Blue Lab（みずほ銀行が出資する新規ビジネス創出企業）及び富士通は、異業種企業の協力を得て、AIを活用したパーソナライズドバンキングサービスのビジネスモデル検証を開始した。

近年、銀行のサービス利用形態は、営業店舗だけでなく、スマートフォンアプリやウェブサービスなど多岐に渡っており、残高照会や口座振替などの既存の銀行サービスに加え、個人ごとの金融状況や購買行動に基づく個々の生活に密着したパーソナライズドバンキングサービスへのニーズが急速に高まっている。パーソナライズドバンキングサービスとは、利用者の同意を前提に、AI技術を活用して、利用者一人一人の金融取引状況と、本人の金融リテラシーや消費習慣を洞察することに加え、リアルタイムに家計状況を分析することで、今後の収入や支出を予測するもの。また、利用者に対し、最適な金融行動をアドバイスして、それらの金融行動と関連する生活情報のレコメンデーションも行う。

今回の検証は、2018年度にBlue Labと富士通が実施した検証の結果を受け、新たに小売業やサービス業などの異業種企業と連携のもと販促情報提供等の機能改善し、実サービス提供に向けて検証を行うもので、前回同様、マネーツリー社の協力により使用承諾を得た個人金融情報及びイスラエルのPersonetics Technologies社のAIレコメンデーションソリューション「Personetics Engage」を活用する。

【実施概要】

1. 期間

2019年9月10日から2020年2月29日

2. 実施内容

前回の検証の結果から、より使いやすいUI/UXへの改善等を実施しています。ポイントは以下の5点。

- (1)アラートやアドバイス、レコメンデーションの改善
- (2)同一属性者の金融行動との比較および改善アドバイスの提示
- (3)スマートフォンアプリの活用
- (4)小売・サービス業などの異業種企業連携のもと販促情報を提供
- (5)金融情報活用範囲の拡大（証券口座情報の考慮）

3. 参加者

みずほ銀行、みずほフィナンシャルグループ、Blue Lab、富士通、富士通のグループ会社の社員、販促情報を提供する連携先企業の社員 合計約 300人

出典：プレスリリース

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20190910release_jp.pdf

<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2019/09/10.html>

フィンテック FUNDBOX 社が日本を含む投資家から 3.26 億ドル調達

フィンテックスタートアップ Fundbox 社が、シリーズ C において、デットで 1.5 億ドル、エクイティで 1.76 億ドルの資金を調達したと発表。投資したのは、Hamilton Lane、Cathay Innovation、Synchrony Financial、三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ、リクルート・ストラテジック・パートナーズ、GMO インターネット、Arbor Ventures、Khosla Ventures、General Catalyst、Spark Capital Growth、Allianz X、Healthcare of Ontario Pension Plan (HOOPP)、HarbourVest、9Yards Capital。どこがデットでどこがエクイティで投資したのかについては非開示。

Fundbox 社は、2012 年に創業し、米国の中小企業向けにインボイス・ファクタリングサービスの提供を開始。後に、B2B 信用ネットワークを構築した。会計ソフト又は銀行口座との連携により、各種取引データを取得し、中小企業間の取引関係等を分析することで、独自のスコアリングモデルを構成している。ユーザーは、オンラインで必要情報を入力した後、追加の質問や審査を経ることなく、スピーディーな借入が可能となる。同社は、同業他社に比べて低いデフォルト率を達成している。同社によると、現在、米国の約 20 万社の中小企業に与信を行っている。

同社共同創業者兼 CEO の Eyal Shinar 氏によれば、今回の投資は米国以外での事業拡大と新製品開発に用いられるという。「我々は欧州と日本を見ており、そのため両地域の大きな投資家に参加してもらった」また、同氏によると、今回参加した投資家の中から、同社が IPO を選択した際に支援してくれる投資家を選んでいるという。

同社は現在までにアマゾンの創業者兼 CEO のジェフベゾス氏を含む投資家から 3.16 億ドルを調達している。従業員は、テルアビブ、サンフランシスコ、ダラス、テキサスに 250 人いる。

出典：報道 CTech by Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3770956,00.html>)

プレスリリース

(<http://www.ip.mufg.jp/post/fundbox-ltd%E3%81%B8%E3%81%AE%E5%87%BA%E8%B3%87%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6>)

イスラエルにおける展示会・国際会議の今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

モビリティ **SMART MOBILITY SUMMIT 2019**（2019年10月28～29日、テルアビブ）

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で7回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

印刷 **ISPRINT**（2019年10月29～31日、テルアビブ）

印刷、デジタル印刷、グラフィクス、サイネージ等に関する展示会。

<https://www.stier.co.il/isprint/en/>

医療 **INVENTIONS AND INNOVATIONS: MEDICINE 2040**

（2018年11月4～5日、テルアビブ）

医療及び科学のカンファレンスをオーガナイズする Comtecmed による国際カンファレンス。ノーベル化学賞受賞者など、一線の研究者によるセミナーのほか、企業展示も予定されている。本年が初開催。

<http://ini.comtecmed.com/>

歯科医療 **THE DENTAL SHOW 2019**（2019年11月4～5日、テルアビブ）

歯科関連の展示会で、7,000人の歯科医師、技術者等の来場を見込む。

<http://www.dentalshow.net/>

通信 IEEE COMCAS 2019 (2019年11月4～6日, テルアビブ)

マイクロ波, 通信, アンテナ, 電気システムに関する国際カンファレンス。世界約40か国から1,500人以上の参加者を見込む。本年は, デジタル AESA レーダー, Intuitive Microwave Filter Design with EM Simulation, 5G, IoT 通信などを取り上げる。

<https://www.comcas.org/>

産学連携 AUTM ASIA 2019 (2018年11月4～7日, エルサレム)

ヘブライ大学の技術移転機関 Yisum, 学術研究とイノベーションを支援する NPO である AUTM, 及びイスラエルの技術移転機関のネットワークである The Israel Tech Transfer Network が主催する, 技術移転に関するカンファレンス。

<http://autmasia.com/>

再生医療 7TH INTERNATIONAL STEM CELL MEETING (2019年11月12～13日, テルアビブ)

イスラエル幹細胞学会が主催する国際学会。

<https://www.stemcell2019.org/>

NEW AI AI WEEK (2019年11月17～21日, テルアビブ)

テルアビブ大学が主催する AI に関する国際カンファレンス・展示会。2000名の参加を見込む。イノベーション庁が協賛。

<https://www.ai-week.com/home>

水 WATEC ISRAEL 2019 (2019年11月18～21日, テルアビブ)

水・環境技術に関する国際展示会。水・エネルギー・環境分野の企業が主として参加し, 新たなビジネスパートナーや投資家等を見つける機会となる。水技術に関するカンファレンスや専門家パネル等のイベントも多数併催される。

<http://watec-israel.com/>

物流 **ELECTRONIC PACKAGING, ELECTRO-MECHANICAL SOLUTIONS & 3D DAY 2019** (2019年11月19日, テルアビブ)

エレクトロニック・パッケージをはじめとする包装、物流関係全般に関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/electronic-packaging-and-electro-mechanical-solutions/>

デジタルヘルス **DIGITAL.HEALTH.NOW.2019** (2019年11月27日, テルアビブ)

非営利シンクタンクである Israel Innovation Institute が主催するデジタルヘルスに関するイベント。1,500人、350のスタートアップの参加を見込む。カンファレンスの他に、B2B ミーティング等もアレンジされる。

<https://www.healthil.org/digitalhealthnow2019>

IOT **IOT, EMBEDDED SOLUTION & MICROPROCESSORS 2019**
(2019年12月10日, テルアビブ)

IOT、組み込みシステム、マイクロプロセッサに関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/embedded-and-microprocessors-conference/>

災害対応 **IPRED, THE 6TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON PREPAREDNESS & RESPONSE TO EMERGENCIES & DISASTERS** (2020年1月12~15日, テルアビブ)

緊急・災害時の準備・対応に関する国際会議。主なテーマは銃乱射事件・人道的価値・クラウドソーシング緊急対応・オールハザードアプローチとトップハザードアプローチ・フェイクニュースの時代の緊急&コミュニケーション管理・救命救急士 (EMT) イニシアチブ。

<https://www.ipred.co.il/>

IOT **MOTION CONTROL, AUTOMATION & POWER SOLUTIONS 2020** (2020年1月14日, テルアビブ)

モーション・コントロール、自動化、ロボット等に関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/motion-control-power-solutions/>

サイバーセキュリティ CYBERTECH (2020年1月28~30日, テルアビブ)

サイバーセキュリティの国際会議, 展示会。米国以外で行われるものとしては世界最大級。産業界, 政府政策決定者, 技術専門家等が世界から訪れる。ネットワーキング機会の提供も行っており, B2B ミーティング機会も提供される。

<http://www.cybertechisrael.com/>

スタートアップ 2020 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT (2020年2月11~13日, エルサレム)

エルサレムのクラウドファンディング型 VC である OurCrowd による年次イベント。OurCrowd の投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2019 年は 187 か国から 18,000 人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

スマートシティ MUNI WORLD 2020 (2020年2月18~20日, テルアビブ)

イスラエルの地方政府の連合団体が開催するスマートシティに関するイベント。世界各国の地方自治体から参加者が集まり, ベストプラクティスや専門知識を共有することを目的に, 企業展示やカンファレンスを実施。150 社以上のイスラエル企業, 9,000 名以上の参加を見込んでいる。

<http://muniexpo.co.il/muni-world/>

防衛/航空 MILITARY & AVIATION EXHIBITION 2020 (2020年3月3日, テルアビブ)

防衛・航空分野に関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/motion-control-power-solutions/>

保守管理 MAINTENANCE ELECTRICITY & INDUSTRY (2020年3月3~4日, テルアビブ)

ビルメンテナンス、産業用機械の保守管理、電気工事、空調、換気等に関する展示会。1994 年から毎年行われている。

<https://epochannels.com/Website/en/Maintenance/About>

スマートモビリティ ECOMOTION WEEK 2020 (2020年5月18~21日, テルアビブ)

非営利シンクタンクである Israel Innovation Institute と、首相府の取組である「Fuel Choices and Smart Mobility Initiative」、経済産業省が連携した事業である EcoMotion の年次イベント。4,000人、130のスタートアップが参加するメインイベント(カンファレンス・展示会)は、19日開催。

<https://www.ecomotion.org.il/>

NEW アクセシビリティ ACCESS ISRAEL'S 8TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON THE FUTURE OF ACCESSIBILITY (2019年5月22~26日, テルアビブ)

障がい者や高齢者にとってのアクセシビリティ向上を目指すNPOが主催する国際カンファレンス。

<https://aisraelcon.org/en/>

NEW 医療機器 THE 2ND MEDICAL DEVICE RESEARCH & DEVELOPMENT SUMMIT (2020年5月24~24日, テルアビブ)

医療機器(ハードウェア及びソフトウェア)に特化したカンファレンス。今回は、最先端のR&Dの方法論やツールを特集。

<https://www.stier.co.il/mdr-d/>

エレクトロニクス NEW TECH 2020 EXHIBITION (2020年5月26~27日, テルアビブ)

ハイテク分野に関する大規模展示会で、150社以上が展示、数千人の来場者を見込む。対象分野は、クリーンルーム装置、電子光学品、レーザー、光ファイバー、レンズ、カメラ、試験用機器、プリント基板、筐体、電子機械器具、周辺機器、組込みシステム、モーター、ロボティクス、通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/motion-control-power-solutions/>

光学 OPTO TECH 2020 (2020年5月26~27日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

インダストリー- 4.0 INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY（2020年5月27日, テルアビブ）

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、インダストリー4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT、自動化・ロボティクス、M2M、AI、サイバーシステム、クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

観光 ツーリズム EXPO ジャパン 2019 (2019年10月24～27日,
大阪)

日本で開催される世界最大級の旅の祭典。イスラエルブースが出展予定で、イスラエルの観光業者が多数来日予定。

<https://www.t-expo.jp/>

イノベーション イノベーションリーダーズサミット 2019 (2019年10月
28～30日, 東京)

大手企業のアセットとスタートアップのアイデアやテクノロジーをマッチングし、グローバルイノベーションを生み出すことを目的とした、アジア最大級のオープンイノベーションカンファレンス。今年で7回目の開催となる。

本年は日本貿易振興機構 (JETRO) が協力し、イスラエルスタートアップの参加を促している。

<https://ils.tokyo/>

NEW **メディア** THE FUTURE OF VIEWING EXPERIENCE イスラエル
ニューメディアセミナー (2019年11月14日, 東京)

ニューメディア (放送技術・メディア技術・ビッグデータ・コンピュータビジョン・XR・AI など) の企画・開発・販売担当者及びその分野の投資家向けのセミナーで、イスラエル企業8社が来日。イスラエル企業からのピッチに続き、個別面談が設定される。

https://israel-keizai.org/events/event/viewing_experience_2019/

サイバーセキュリティ サイバーテック東京 2019 (2019年11月26～27日,
東京)

イスラエル発祥で、今や世界中で開催されている B2B ネットワーキングプラットフォームである Cybertech の東京開催イベント。世界の企業トップ、政府高官、オピニオンリーダーを迎えてのカンファレンスのほか、スタートアップのパビリオン

<https://tokyo.cybertechconference.com/ja>